

グローバル社会とアカデミアに貢献する人材を育成・支援する総合パッケージを展開

一知の高みに挑戦し続けるために—

名古屋大学では、国内外から優秀な人材を惹きつけ、育成し、アカデミア、産業界、社会に輩出するため、大学院教育からシームレスに続く若手研究者の育成システムを構築しています。卓越大学院などの大学院教育、若手研究者の採用・養成のためにYLC (Young Leaders Cultivation) プログラムなどを構築し、世界基準の若手研究者の育成・支援を強力に展開しています。

博士課程教育支援

社会に貢献できる専門家としてグローバルにその力を発揮するには、専門領域の深い学識と卓越した能力に加えて、関係者との協働ネットワークを創造発展させる「PhDスキル」が不可欠です。名古屋大学では文部科学省の大型教育研究プロジェクトを次々と獲得、それらをテコに大学院生への経済的支援とともに、多様な専門家や人々と広く交流し、協働する中で高いスキルが培われる環境・制度を整えてきました。

1 博士課程教育推進機構

博士課程前期課程／後期課程

世界屈指の水準の博士課程教育を実現し、学術界のみならず、産業界、国際機関など、日本国内外のあらゆるところで活躍し得る博士人材の育成を目的とし、博士課程教育リーディング6プログラムで培った知見や成果を全学に展開するため設置されました。

全学共通科目（プロフェッショナルリテラシー）の全学展開／トランスファブルスキルの各種取り組みの実施／J A S O 海外留学支援制度の採択・実施／企業と博士人材の交流会などキャリア支援の実施／卓越大学院プログラム（4プログラム）採択／科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業の採択・実施／次世代研究者挑戦的研究プログラムの採択・実施／教育プログラム履修生の授業料免除

2 卓越大学院プログラム

博士課程前期課程／後期課程

博士課程教育リーディングプログラムの後継として卓越大学院プログラムとして4プログラムを展開しています。全プログラム合計で300名を超える大学院生が、経済支援を受けながら、研究に加え、企画力や効率力などを培うトレーニングにも取り組み、海外大学での研修、異なる専門の大学院生との協働、企業との共同研究、スタートアップ研修、起業の訓練、海外インターンシップなどを実践。有力企業の専門家との交流や協働も日常的に行われています。

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム（2018年度～）／未来エレクトロニクス創成加速OII協働大学院プログラム（2018年度～）／情報・生命医学科学コンポリューションonグローバルライオンズ卓越大学院（2019年度～）／ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム（2020年度～）

3 アントレプレナーシップ教育と起業支援

学部／博士課程前期課程／後期課程

2023年4月に発足したディープテック・シリアルイノベーションセンターでは、学部から博士後期課程まで、階層的に、大規模かつ学際的なアントレプレナーシップ教育を行います。これは単なる起業家育成教育ではなく、企業人、研究者、すべての社会人に必要な基礎力育成を目的としています。

また、名古屋大学をはじめとする東海地区の23大学が参画する「Tongai東海地区産学連携大学コンソーシアム」が展開する起業家育成プログラムと連携して、アントレプレナーシップ教育とともに、シーズ育成やGAPファンドなどの起業支援にも力を注いでいます。



博士課程前期課程
1 博士課程教育推進機構
2 卓越大学院プログラム
3 アントレプレナーシップ教育と起業支援



4 名古屋大学融合フロンティアフェロシップ制度

博士課程後期課程

2021年度に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業）とともに名古屋大学融合フロンティアフェロシップ制度を設け、アジア未来創造分野、情報・AI分野、量子科学分野、マテリアル分野の大学院生（合計231名程度）を対象に、経済支援とカリキュラム提供をしています。継続的な学術の深化や、次世代の科学技術・イノベーションの創出を担い、活力ある社会の構築に寄与できる博士人材の輩出を目指しています。

5 東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業

博士課程後期課程

東海機構とJST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」により、東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業を展開しています。パイオサイエンス、革新的学際、脱炭素・環境、グローバル推進の4分野の大学院生（合計281名程度）を対象に、経済支援とカリキュラムを提供し、将来の知識基盤社会を先導する博士人材育成を目的としています。専門の異なる博士課程学生や価値観の異なるメンター、さらにはロール・モデルとなる社会で活躍する博士人材などとの交流の

機会を設けることで、自身の発想に基づく新たな研究展開や融合研究の創出を促します。



博士課程後期課程

4 名古屋大学融合フロンティアフェロシップ制度
5 東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業

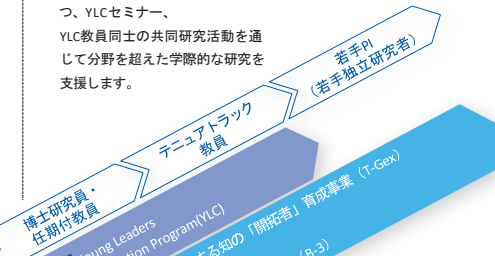


若手研究者支援総合パッケージ

名古屋大学では、国からの支援に加え、給与支給、授業料免除、民間からの奨学金制度などを導入・活用するとともに、独自の施策として若手研究者のポストを用意するなど、世界で戦える研究者の育成と支援を推進しています。

6 Young Leaders Cultivation Program (YLC)

若手研究者を組織的に育成するために、すべての学問分野から毎年8名程度の、博士号取得後間もない若手研究者をダイバーシティに配慮しつつ特任助教（YLC教員）として採用しています。5年間の任期のうち、必要に応じて教育体験も積みながら腰を据えて自律的に研究に取り組みつつ、YLCセミナー、YLC教員同士の共同研究活動を通じて分野を超えた学際的な研究を支援します。



7 世界的課題を解決する知の「開拓者」育成事業（T-GEX）

T-GEXは、2021年度科学技術人材育成費補助事業「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」に採択されたプログラムです。大型の国際的・学際的研究プロジェクトを牽引するPI（Principal Investigator）を目指す研究者や、産学連携や起業を国内外で活発に展開する高度人材を目指す研究者への支援を通じ、次世代に対するロール・モデルを輩出し、人材育成の好循環をつくり出します。

研究環境構築支援／研究費の支援／異分野・異業種の研究者とネットワークの機会を提供／メンター、アドバイザー、URAIによる支援

8 創発的研究支援事業

2020年度よりスタートしたJSTが実施する創発的研究支援事業として、2020～2022年の3年間で計55名の研究提案が採択されています。これは研究提案の採択数として全国の大学の中で累積3位の実績を誇っています。

年間700万円の研究費支援／人件費・研究環境構築支援（最大7年間）／活発な学術交流を促進するための創発の場の支援

9 若手新分野創成研究ユニット（B-3）

特任・PDを含む若手研究者の育成と視野拡大を支援することにより、若手研究者による新分野の創成を目指しています。

研究費支援（100万円上限）／ユニット構成研究者の雇用支援（1名）／研究環境構築支援